

「松永白洲記念館見学と書道体験」 ウクライナ支援 NO-6

活動会場	藤井寺市古民家登録 松永白洲記念館	報告者	大川
活動月日	2025 年 4 月 20 日 AM11:00~PM14:00	推進リーダー	村松、大川
スタッフ名	村松、長澤、奥田、森下、大川 記念館スタッフ館長、講師 2 名事務局、		
参加者 28 名	ウクライナ受講生 15 名 ネットスタッフ 5 名 記念館スタッフ 5 名 SA 藤井寺アシスト 3 名		
活動概要	集合場所： 近鉄「大阪阿部野橋駅」中央改札口前午前 10 時 近鉄「阿倍野橋駅」10:25⇒道明寺 10:41⇒柏原南口 10:45 白洲記念会館着 11 時 ① SA ネット大阪理事長 白洲記念館長挨拶 講師紹介 完成色紙、自作品説明 ② 書道。墨、硯、筆説明後、各自実習 11:20~12:00 文字＝平和 ③ 食事&館内資料説明江戸時代の大和川付け替え、近鉄前身河陽鉄道大和川陸橋（イギリス）蒸気機関車（ブルガリア） 12:00~13:00 ④ 一筆書。絵の具説明 はな＝忘れなぐさ 13:00~13:40 終了ご記念写真		



総勢 28 名の記念写真

書道体験実習 漢字「平和」 墨、硯、筆説明 松永講師



松永白洲記念館

江戸末期に建てられた河内の民家をそのまま記念館として公開し、この家で育ち、大和川を愛した書家松永白洲氏の奔放、多彩な作品が季節に応じて展示されています。記念館は"心ふれあうやすらぎの場"として、ご家族が公開提供されています。なお、記念館の開館日は、土・日・月曜日の週3日間ですのでご注意ください。

(藤井寺市観光協会 HP より)



歓迎！

- ・ウクライナ国旗
- ・横断幕



館内資料説明
松永館長



各自色紙完成
各自のイニシャル（日本的印）
で作成。完成品嬉しそう・・・



一筆書き実習 古野講師
一筆で花「忘れな草」を描く
一筆書き専用絵の具使用



所 感

- ウクライナ時間・ウクライナ解釈には面食らった（集合時間・持参個人弁当）
総ての会話が通訳付き、日本在中3年の、若い女性がアシストで、助かった。
- 書道体験、実習＝墨、硯、毛筆総て初めての様で日本文化に真剣にチャレンジしてくれた。
欧米のひとは、漢字を「イラスト、デザイン」と認識、下から書いたり真ん中から書いたりと聞いていたが、スタッフ、アシスタントが「マンツーマン指導」でフォロー綺麗に出来上がった。
- ランチタイム取ると弁当持参していない？に、びっくり！スタッフ、コンビニ買い出し想定外！
- 一筆書き実習＝一筆で花を描く毛筆で描くところがみそ、出来上がった漢字と花の色紙に各自のイニシャルを、日本的サインを施し、本人に渡し集合記念写真を撮る皆嬉しそう・・・
- 最後に研修、体験、の感想を通訳通じ口頭で報告して貰う、交流の場を持ち交流後、解散。
- *・日本文化にふれ良かった・楽しく日本文化を研修出来・アシスタントの個人フォローに感謝等々。
第6回は研修、実習を通してマンツーマンの交流が、出来てお互いによかった！
主催者側（協力記念館スタッフ含む）＝ウクライナ被災難民の方。双方が満足した様。
- 「終わりよければ、すべて良し」を強く感じた、イベントだった・・・ 大川